

登録コード	A3591384	開講年度	2026						
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	未定 拓時		
英文授業名	Presentation								
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	研究室配属後の学生対象
信大コンベンション	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】			
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ								
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					森林・環境共生学に関する専門的な知識や研究能力を修得している			
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する問題をとらえ解決する能力を修得している			
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ								
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					森林・環境共生学に関する専門的な知識や研究能力を修得している			
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する問題をとらえ解決する能力を修得している			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について適宜解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、自分の研究分野において4年次における研究計画の発表につながる文献の紹介を行う。								
(5)授業計画	2～3週に1回、自分の研究テーマに関連する文献を読むとともに、その内容とそれに関連した事項について引用文献や書籍等を調査するなどして十分に理解したうえでプレゼンテーションを作成して発表する。その後、発表に対して教員及び他の学生から質疑応答を行う。また、他の学生が発表する際には、その内容について質問しディスカッションする。なお、最終回の最後の15分で授業アンケートを実施する。								
(6)自主学習の指針	プレゼンテーションの作成においては参考書の使用を薦める。また、他人のプレゼンテーションや資料も参考にして自主学習を行うこと。								
(7)成績評価の基準	文献紹介のプレゼンテーション・資料の見やすさや理解のしやすさ、演習での議論への参加度合いによって評価する。								
(8)事前事後学習の内容	課題となる文献を検索して選定し、読解して内容を理解する。また、必要に応じて課題文献中の引用文献の内容を理解する。そのうえで、文献紹介のプレゼンテーション・資料を作成し、発表練習を行う。発表で指摘された事項についてわからないものは他の文献や書籍等で調べて理解する。								
(9)テストやレポートの予定	なし								
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下								
(11)質問、相談への対応および連絡先	演習後に質問、相談を受け付けます。その他の時間帯についてはメールにて事前に調整のうえ、研究室等で対応します。簡単なものについてはメールのみで対応することもあります。 連絡先：未定拓時 B棟3階311号室 suesada[at]shinshu-u.ac.jp（[at]は@に変換してください。）								
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。								
【教科書】	指定しない								
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）								